

奥入瀬川の恵みと笑顔あふれるまち」の情報誌

広報

おいらせ

神々へ祈り込めて舞う

百石えんぶりは2月15日から3日間、本町地区を中心に開かれた。若宮八幡宮の奉納摺りで「松の舞」を舞う小笠原基くん（百石小2年）

Oirase
Special
Edition

古老が未来へ託すおいらせたの誇り

百石えんぶり

12 まちの話題——Oirase Topics

14 健康診査・予防接種

17 選挙 Information

18 Monthly Oirase Information

20 国民年金ガール

22 戸籍の窓

24 ズームアップ——田中雪乃さん

Public
Relations
March
2011
No.73

3



Oirase
Special
Edition

古老が未来へ託すおいらせの誇り

百石えんぶり

おいらせの春は百石えんぶりとともに訪れる。180年の長い歴史は、まさに地域の「誇り」であり「宝」だ。伝統を引き継いだ古老は、時には伝統をかたくなに守り、時には時代に合わせ柔軟に変えてきた。神々へ豊年満作を祈願する神事・百石えんぶりは、今なお新たなカタチを求め、進化を続ける伝統芸能だ。

春を呼ぶ伝統行事 「百石えんぶり」

冬の寒さが少しずつ緩み始める2月半ば―町内を練り歩く「百石えんぶり」を見ることが出来る。太夫の舞いは勇ましく、子どもたちの表情はかわいらしい。長い歴史を持つ百石えんぶりは、おいらせが誇る「宝」だ。

えんぶりは年の初めに豊年満作を祈る伝統行事で、青森県南部地方に広く伝わっている。2月には南部町を皮切りに、おいらせ町、八戸市と立て続けに「*えんぶり摺り」が行われる。

えんぶりの名前の由来は、農具を意味する「杓えぶり」がなまったものと伝えられている。小作人が行う苗代や田植え、収穫したコメを「旦那様だんなさま（地主）」に納めるまでの流れを、摺りで表現する。

舞い手は「太夫」と呼ばれている。烏帽子を頭にかぶり、右手には鳴子と呼ばれる棒、左手には扇子を持つ。烏帽子には▼代かきのウマ▼縁起の良いツル、カメや恵比寿様などが描かれている。古くから稲作は特別なものだった。だからこそ、神々への祈りや感謝は欠かせないものだった。

えんぶりは▼速いリズムで活発に舞う「ドウサイえんぶり」▼ゆつくりとした動きで優雅に舞う「ナガえんぶり」―の2種類がある。本町に伝わる「百石えんぶり」は前者だ。

百石えんぶりは180年ほど前五戸町切谷内地区から伝わったものとされる。正式には「五戸通り百石ドウサイえんぶり」と呼ばれる。

百石えんぶりの舞いは、太夫の舞いだけでなく▼竹の子舞▼松の舞▼よろこび舞▼大黒舞▼えびす舞い―など、子どもたちの舞いを組み合わせている。子どもたちの元気な声が町に響くようになると、春の訪れはもうすぐだ。八戸地方えんぶりの一組として、国重要無形民俗文化財に指定される百石えんぶりは、おいらせが誇る「宝」である。



昭和50年頃のものと考えられる百石えんぶりの様子。百石えんぶりは古くから「春を呼ぶ伝統行事」として地域の人々に愛され続けてきた



8 畔止め

収穫したコメを旦那様に納め、豊作への感謝を表現する摺り。「摺り納め」とも呼ばれ、この摺りで百石えんぶりが終了する。

7 えびす舞

コメだけでなく、海の幸への感謝も込められたのが「えびす舞」。つりざおを手に、大きなタイを釣り上げる。せりふや動きが多い舞いだ。

6 大黒舞

大黒様を演じるのは女の子たち。扇子と小槌を手に、優雅に舞う。服装は赤や金など、きらびやかな色のもの。収穫に感謝する気持ちが現れている。

5 よろこび舞

松の舞を覚え、上達した子どもたちが舞う。富や繁栄を表現するため、大きな動きをするのが特徴。商売をしている人には、特に喜ばれる。

4 田植え

太夫が演じる舞いのひとつ。待ちに待った春を迎え、田植え作業を行うしぐさを表現する。首を左右に振りながら摺る大きな特徴だ。

3 松の舞

竹の子舞を舞い、上達した子どもたちが演じる。マツは縁起の良い木として知られる。幸福にあやかりたいという思いが込められている。

2 竹の子舞

小さな子どもが舞い手を演じる。すくすくと成長するタケノコのように、コメや子どもも大きく成長してほしいという願いが込められている。

1 豊年祭り

豊作と旦那様への感謝とともに「今年もコメがたくさん収穫できるように」という祈りを込めた摺り。烏帽子をかぶった「太夫」が舞い手になる。

*えんぶり摺り●えんぶりを踊ることを「摺る」と呼ぶ。百石えんぶりの摺りは、特に激しい動きが見られることで知られる



10



11



12



4



1



3



2

- 1* 本格的な練習は1月から始まる。百石郷土芸能会館（七軒町）に毎晩のように集まり、舞いの動きなどを確認する
- 2* えんぶりの鳥帽子は、普段は若宮八幡宮の中に納められている。百石えんぶりの期間になると、芸能会館内の神棚に供えられる
- 3* 鳥帽子を頭に取り付けてもらう太夫の水沼直樹さん（洋光台）。鳥帽子は外れないように、ひもできつく締め付けて固定する
- 4* 2月15日朝9時過ぎ——若宮八幡宮での奉納摺りから百石えんぶりが始まる。きりりと冷え込んだ空気の中、威勢の良い歌声が響き渡った

- 5* 百石えんぶりの大きな特徴は、ダイナミックで激しい動きだ。寒い冬でも汗が流れるほど激しく舞う
- 6* 15日のえんぶりでは恵比寿様を演じた千葉達也くん（木内々小6年）。合併後は、木内々小学区からも百石えんぶりに加わる子どもが増えてきている
- 7* 大黒舞を舞った後、一休みする川口真梨さん（甲洋小5年）。上出来の舞いに思わずにっこり
- 8* 鐘を鳴らし、リズムをつけながら歌う西館道幸さん（上新町）。20年ほど前、青年団としてえんぶりに関わった世代が今も活躍している
- 9* 美しい笛の音色を奏でる河原寿宜さん（七軒町）。2年前に加わったばかりとは思えないほどの腕前だ
- 10* 食事は地域の婦人らによる手作りのもの。百石えんぶりの期間中は、肉や卵などは食べられない決まりになっている。魚や野菜を中心に、栄養バランスを考えた食事が作られている
- 11* 本町地区周辺の商店などを回り、舞いを披露する「門付け」。門付けをいただくお金などは、百石えんぶりを継続するための力強い支えになっている
- 12* カワヨビルでの舞いの後、温かい牛乳や甘酒が舞い手らに振る舞われた



9



8



7



6



5

勇壮華麗な舞いで 人々の心を魅了

百石えんぶりは2月15日から3日間、若宮八幡宮の奉納摺りを皮切りに始まった。太夫の激しい摺り、子どもらの愛らしい舞いが披露された。百石えんぶりの伝統は、今も人々の琴線を刺激してやまない。

「ヤイヤー」

2月15日朝9時過ぎ——若宮八幡宮に太夫らの威勢の良い声が響き渡る。百石えんぶりの始まりだ。太夫の舞いが始まると、訪れたカメラマンのフラッシュが一斉にたかれた。

若宮八幡宮で次々と舞いが披露される。太夫の舞はもちろん、子どもたちが舞う▼竹の子舞▼松の舞▼よろこび舞▼大黒舞▼えびす舞——も好評だ。勇壮華麗な舞いに、来場者は惜しみない拍手を送る。

若宮八幡宮の奉納摺りが終わると、彼らは町内へと繰り出す。商店などを回り、舞いを披露する。これが「門付け」だ。2日間の門付けが終わると、3日目には八戸市で開かれる「八戸えんぶり」の一斉摺りに加わる。

えんぶりの期間は寒さの厳しい時期だ。長い時間舞いを続けると、手足がしびれるほど冷えてくる。子どもたちの母親もサポートに大活躍。「毎年えんぶりの時期が来るのが楽しみ。子どもの成長が手に取るように分かる」と笑顔だ。舞い手「家族―地域。この3者が百石えんぶりを通じてつながっている。つながりで生まれた絆が、百石えんぶりを力強く支えている。」

時代に合わせて 新たな伝統をつくる

小笠原正男さん——百石えんぶりを知り尽くした人だ。92歳の今もなお、えんぶりに寄せる情熱は衰えを知らない。いつも舞い手の中心にいる小笠原さんは、伝統を引き継ぐことの大切さを若手に惜しみなく伝え続けている。



は「とにかく歌は聞いて覚えろ」と言われた。

「とにかく師匠の歌う様子を見習い続けた。覚えるのに必死だった」と話す小笠原さん。あまりに練習し過ぎて、寝言で百石えんぶりの歌を歌い、妻からたたき起こされたことが何度もあると当時を懐かしむ。

以来70年近くも百石えんぶりに関わるようになった。気の遠くなるような年月だが、小笠原さんは「あつという間だったよ」と軽く笑う。

しかしその間、何度も百石えんぶりは中断を余儀なくされた。特に資金不足は活動を停滞させた。そのたびに小笠原さんは町へ支援をお願いしたという。180年もの長い歴史を持つ百石えんぶり。だからこそ「自分たちの代で絶やすわけにはいかない」と強く思った。

百石小学校だけでなく、甲洋小学校からの参加者が増えてきた。教育委員会とタイアップした「子どもえんぶり教室」の効果が現れた。合併後は木内々小学校からも参加者が加わり、メンバーにさらなる「厚み」が出ている。

神事であるからこそ、守らなければならぬ決まりもある。しかし時がたつに連れ、周りの環境や考え方も変わってくる。小笠原さんは「伝統には変えて良いところだつてある。続けていけば、それも新しい伝統になるんだ」と言い切る。

えんぶり期間は家族のような付き合いを見せる舞い手たち。いつもその中心には小笠原さんがいる。「百石えんぶりは先人から受け継いだ大切な文化。だからこそ絶対絶やしてはならない」と信じ、伝統をつくってきた舞い手たちはしつかりと心に刻む。続けてきたからこそ育まれた伝統は、現在、そして未来へと着実に引き継がれていく。



おがさわら・まさお◎1918(大正7)年生まれ。太平洋戦争に出征し、帰還後、百石えんぶりに関わる。89(平成元)年百石町功労賞、09(平成21)年(財)伝統文化活性化国民協会の地域伝統文化功労賞を受賞。郷土芸能の伝承、後継者育成に積極的に取り組む。おいらせ町七軒町在住、92歳

「絶対に絶やしてはならない」
「続けてこそ「伝統」は育まれる

「そんでねえ。こうやんねえばわがねえんだ(そうじゃない。こうじゃないといけないんだ)」

郷土芸能会館に大きな声が響き渡る。舞いの練習をする子どもらへ、厳しく指導する古老がいる。

小笠原正男さんは、百石郷土芸能連絡協議会の会長を務めている。百石えんぶりを誰よりも知り尽くした人である。92歳とは思えないほど足取りも軽く、言葉や動きにエネルギーがみなぎる。若い。

小笠原さんは戦後間もない昭和23年頃から、百石えんぶりに関わるようになった。知人から「百石えんぶりの」歌い手が足りない。やつてもらえないか」と誘われた。戦地から帰還したばかりで、地域の活動に加わっていたわけではなかった。これも何かの縁と思い、歌い手を引き受けた。

百石えんぶりの歌は、書き物として伝わったわけではない。多くの伝統芸能に共通しているように、これらの伝承は師の技を体で覚えるものだった。先輩から



Ogasawara Masao



誇り高い伝統を 未来に引き継ぐ



おいらせが誇る伝統芸能を未来に引き継ぐ後継者たちは、生粋の「えんぶりっ子」でもある。これからの時代を支える若い舞い手に、えんぶりへ寄せる思い、決意を聞いた。

2歳の頃から
百石えんぶりに夢中

竹中翔くん (甲洋小4年)

ぼくは2歳の頃から、百石えんぶりに関わるようになったとおばあちゃんから聞きました。もちろん小さな頃なので、よく覚えていません。兄や姉もえんぶりをしていましたから、遊びのつもりでやっていたんだと思います。

最初は太鼓をたたいたり、動きを真似たりしていました。とにかく楽しくて。家に帰ってからもビデオを見ながら、夢中で舞いを覚えました。今は小学校4年生ですが、太鼓はもちろん、

踊りも歌も全部覚えてしまいました。門付けでいろいろな家やお店を回ると、いつも見ている人が笑顔になってくれます。「ありがとう」と言われることもあります。何だかぼくもうれしくて、幸せな気持ちになれます。

えんぶりがある町に生まれて、本当に良かったなと思います。これからも先輩たちからたくさんのことを教わって、もっともっと舞いが上手になるように頑張りたいです。



Takenaka Sho



百石えんぶりで感じた
地域への愛情と感謝

立花友彦さん (一川目)

小学校1年生からえんぶりを始めました。最初は竹の子舞から、だんだん上の踊りを覚えました。4年生のとき、太夫になれたのはうれしかったです。

伝統芸能は礼儀を重んじます。少しでも姿勢が悪かったりすると、小笠原会長から厳しく叱られました。練習も手を抜くことはできませんでした。

社会人になり、東京で仕事をしていた5年間は、えんぶりから離れてしまいました。でも仕事やラグビーの活動

などをしていて、えんぶりで積み重ねた礼儀作法や伝統を重んじる気持ちが役立つこともありました。

地元に戻ってからは、再びえんぶりに加わるようになりました。子どもの頃と比べ、えんぶりだけでなく地域そのものへの愛情、感謝の気持ちが芽生えてきたように思えます。

百石えんぶりは絶やされない大切な文化です。私たち若い世代がしっかりと引き継がなければと思います。

Tachihana Tomohiko

人々がかつて、田を耕し、苗を植え、水を大切にし、苦労を重ねコメを得た。夏の「ヤマセ」、冬の厳しい寒さと戦い、食べること、生きること必死だった。だからこそ収穫を神々に深く感謝し、次の年の豊作豊漁を心の底から祈った。私たちが今見ている百石えんぶりには、その精神が盛り込まれている。神事として、町の誇りとして、今も絶えることなく引き継がれている。古老はゆつくりと、力強く言った。「続けてこそ伝統は育まれる」「伝統には変えて良いところもある」大切なところはかたくなに守り、時代に合わせられるところは変えた。演じる者の熱くゆるぎない思いと支える地域の温かい愛情が融合した。だからこそ「百石えんぶり」は今も人々の心を魅了してやまない。来年もえんぶりの季節がやって来る。おいらせの風土、歴史を思いながら、先人への感謝の気持ちを持ちながら、みんなで彼らに温かい拍手を送ろう。

特集◎古老が未来へ託すおいらせの誇り

百石えんぶり

おわり

美化に取り組む3団体を表彰 いきいきランラン美化賞表彰式

▶▶▶ Feb.06-2011



いきいきランラン美化賞表彰式は2月6日、町民交流センターで開かれ、美化活動に取り組んだ2個人1団体を表彰しました。表彰されたのは▶工藤桑輔さん(木崎)▶小向森友さん(根岸)▶木内々町内会——です。

ほぼ毎日、自宅からイオンモール下田付近の路上に落ちているごみを拾っている工藤さんは「当たり前と思って毎日続けてきたが、このように評価されうれしい。これからきれいなまちづくりに貢献したい」と話していました。

◀地道な活動を評価された工藤さん(写真右)

大災害から重要文化財を守れ 文化財防火デーに伴う防火訓練

▶▶▶ Jan.26-2011



文化財防火デーに伴う防火訓練は1月26日、聖福寺(阿光坊、小坂仁道住職)で開かれました。この訓練は県重要文化財の「聖観世音菩薩立像」を火災などの災害から守るため、毎年開かれています。

小坂住職らは八戸北消防署員の指示に従い、火災警報器などの設備を確認。煙が立ち込める中、本堂からダミーの箱を持ち出しました。小坂住職は「菩薩像は大変貴重なもの。火災などがあっても必ず守りたい」と話していました。

◀煙が立ち込める中、重要文化財に見立てた箱を運び出す小坂住職

県大会制し三重での健闘誓う バレー・きのしたSSV全国大会出場

▶▶▶ Jan.09-2011



きのしたSSV(木ノ下小女子バレー・一條渉監督)は1月16日、青森県スポーツ少年団フェスティバルバレーボール競技会に出場し、見事優勝しました。3月末に三重県で開かれる全国大会への出場が決まっています。

団員、関係者は2月9日、優勝報告のため成田町長を訪問しました。一條監督は「粘りのバレーで、全国レベルに胸を借りるつもりで頑張りたい」と、早くも次のステージへ目標を定めていました。

◀優勝を決め笑顔。左から橋本愛梨さん、木村亜里沙さん、赤沼佑羽さん

輝かしい成績が全国的に評価 日本ソフトテニス連盟優良団体表彰

▶▶▶ Feb.04-2011



町ソフトテニススポーツ少年団は、このほど日本ソフトテニス連盟優良団体表彰を受賞しました。これは本団体が10年連続県大会優勝、全国大会3年連続入賞など、常に上位入賞を重ねてきたことが評価されたものです。

団員らは2月4日、町長へ受賞を報告。木村葉月さん(百石小6年)は「受賞はとてもうれしいです。これからも一生懸命練習して、少しでも良い成績を残せるようにしたいです」とこれからの活躍を誓っていました。

◀成田町長へ笑顔で受賞を報告する木村さん(写真右)

さわやかな汗流し交流深める 町民ソフトバレーボール大会

▶▶▶ Feb.13-2011



町民ソフトバレーボール大会は2月13日、町民交流センターで開かれ、町民60人余りが参加しさわやかな汗を流しました。

ソフトバレーボールで使うボールは通常のものよりも大きめで柔らかいものです。体に当たっても痛みは少なく、ボールの軌道に大きな変化が加わるのが特徴です。

木下環さん(百石高2年)は「ソフトバレーは誰でも楽しめる。思わず夢中になる」と笑顔で汗を拭っていました。

◀狙いを定めスパイクを打つ木下さん(写真左)

子どもたちが練習の成果を披露 伝統文化子ども教室合同発表会

▶▶▶ Feb.06-2011



伝統文化子ども教室合同発表会は2月6日、みなくる館で開かれ、子どもたちが練習成果を披露しました。

伝統文化子ども教室は(財)伝統文化活性化国民協会の助成を受けて実施される事業です。本町でも▶日本舞踊▶琴▶茶道▶華道——など、さまざまなジャンルで伝統文化の継承が行われています。

保護者らは子どもたちの舞いに惜しみない拍手を送ったり、子どもがたてたお茶を堪能したりしました。

◀かわいらしい舞いを披露する子どもたち

先人に思いを馳せ飛躍を誓う 豊栄開拓70周年記念式典

▶▶▶ Feb.13-2011



豊栄町内会(角光利会長)が主催する豊栄開拓70周年記念式典は2月13日、豊栄地区ふれあい館で開かれ、関係者60人余りが出席しました。

豊栄地区は1941(昭和16)年、食糧増産などを目的に大規模な開拓が進められました。当時の苦労の積み重ねにより、今もこの地域は大規模農業が盛んに行われています。

角会長は「先人の苦労を忘れず、子や孫たちのためにこれからも頑張りたい」と力を込めていました。

◀開拓記念碑の前に、先人の苦労をしのぶ関係者

エコを切り口にまちづくり学ぶ まちづくりフォーラム

▶▶▶ Feb.06-2011



まちづくりフォーラムは2月6日、町民交流センターで開かれ、町民100人余りが参加しました。

今年のフォーラムのテーマは「エコ」。ごみの減量や環境美化など、さまざまな取り組みの実践者によるパネルディスカッションに、参加者は真剣に耳を傾けました。

基調講演で話題提供した有谷元子さん(県地球温暖化防止活動推進センター)は「まずはできることから。地道な活動地域の積み重ねになる」と力を込めていました。

◀「地域づくりはまずできることから」。参加者に訴える有谷さん

予防接種 (乳幼児)



23年度の定期予防接種を行います。個別通知はありません。対象になる子どもは、忘れずに接種しましょう。

集団接種 (ポリオ) 実施時間◎ 13時半から 14時まで

年	月日・曜日	会場	担当医
23年	4月8日(金)	いきいき館	おいらせ病院
	5月20日(金)	いきいき館	おいらせ病院
	7月1日(金)	いきいき館	おいらせ病院
	9月14日(水)	北公民館	ケイククリニック
	10月28日(金)	北公民館	こんの医院
	12月12日(月)	北公民館	下田診療所

※対象は、生後3カ月から90カ月未満の子どもです。ワクチンは41日以上間隔を開けて、2回飲んでください。

個別接種 (それぞれの医療機関へ、各自3日前までに電話予約してください)

予防接種名	対象 (標準的な接種)	接種方法・回数	ほかの予防接種との間隔
B (結核)	生後3~6ヶ月未満	1回接種	
M R 混合 (麻しん・風しん)	1期 生後12~24ヶ月未満	1回接種	接種後、27日以上間隔をあける (4週間後の同じ曜日から接種可)
	2期 小学校入学前の1年間	1回接種	
三種混合 (DPT)	1期初回 生後3~90ヶ月未満	20~56日までの間隔で、3回接種※	
	1期追加 生後3~90ヶ月未満	初回(3回)終了後、12~18カ月、間隔をおいて1回接種	接種後、6日以上間隔をあける (1週間後の同じ曜日から接種可)
日本脳炎	1期初回 生後6~90ヶ月未満 (3歳)	6~28日までの間隔で2回接種※	
	1期追加 生後6~90ヶ月未満 (4歳)	初回(2回)終了後、おおむね1年後に1回接種	

※発熱など医学的理由がなく、接種間隔を超えて接種すると、任意接種となり有料になります。ただしその状態が解消された後、速やかに接種すると、予防接種法に基づく接種とみなされ、無料で接種できます。

個別接種を行う医療機関

医療機関	電話番号	接種曜日	受付時間	休診日
おいらせ病院	0178 52 3111	火、金 (BCGは火のみ) 電話予約受け付け	14:00~14:30 平日 8:30~16:30	土、日、祝
石田温泉病院	0178 52 3611	月、金 (土は要相談) 電話予約受け付け	15:30~16:30 平日 8:30~16:30	日、祝
下田診療所	0178 56 3116	月~金 土	8:30~12:00 14:00~15:00	日、祝
こんの医院	0178 56 8066	月、水、金、土、日	10:00~12:30 14:30~18:00	火、木
ケイククリニック	0176 53 6000	月、火、木、金 水、土	8:30~12:30 14:30~18:30	日、祝

- 事前に配られている「予防接種と子どもの健康」を必ず読んでください
- 接種当日は必ず事前に検温し、体温を予診票に記入しましょう。
- 接種当日は、予診票と母子健康手帳を忘れず持参しましょう。
- 上記医療機関以外のかかりつけ医での接種を希望する人は、環境保健課へ連絡してください。



健康診査

23年度の健康診査を行います。対象者には個別に通知します。対象の子どもがいる保護者は、しっかり予定に入れておきましょう。

健康診査 受付時間◎ 12時半から 12時45分まで

1歳6カ月児健康診査 会場◎いきいき館

年	月日・曜日	対象者の生まれた月	
23年	4月5日(火)	平成21年9月	
	5月10日(火)	平成21年10月	
	6月7日(火)	平成21年11月	
	7月5日(火)	平成21年12月	
	8月9日(火)	平成22年1月	
	9月6日(火)	平成22年2月	
	10月4日(火)	平成22年3月	
	11月8日(火)	平成22年4月	
	12月6日(火)	平成22年5月	
	1月17日(火)	平成22年6月	
	24年	2月7日(火)	平成22年7月
		3月6日(火)	平成22年8月

3歳児健康診査 会場◎老人福祉センター

年	月日・曜日	対象者の生まれた月	
23年	4月22日(金)	平成19年10月	
	5月27日(金)	平成19年11月	
	6月24日(金)	平成19年12月	
	7月22日(金)	平成20年1月	
	8月26日(金)	平成20年2月	
	9月30日(金)	平成20年3月	
	10月21日(金)	平成20年4月	
	11月25日(金)	平成20年5月	
	12月16日(金)	平成20年6月	
	24年	1月27日(金)	平成20年7月
		2月24日(金)	平成20年8月
		2月23日(金)	平成20年9月

2歳6カ月児健康診査 会場◎いきいき館

年	月日・曜日	対象者の生まれた月
23年	5月24日(火)	平成20年10月~11月
	7月12日(火)	平成20年12月~21年1月
	9月13日(火)	平成21年2月~3月
	11月15日(火)	平成21年4月~5月
24年	1月24日(火)	平成21年6月~7月
	3月13日(火)	平成21年8月~9月

子どもの健康状態を把握することは、親の大切な役目です。子どもの健やかな成長のために、忘れずに受けてください。

環境保健課 ☎ 0178 56 4218





1 今年執行される選挙

選挙権のある人には、後日投票所入場券が届きます。忘れず投票しましょう。

▶▶▶ 青森県議会議員一般選挙

- 選挙期日 4月10日(日)
- 告示日 4月1日(金)

▶▶▶ おいらせ町議会議員一般選挙

- 選挙期日 4月24日(日)
- 告示日 4月19日(火)

▶▶▶ 青森県知事選挙

- 選挙期日 6月5日(日)
- 告示日 5月19日(木)

2 おいらせ町議会議員一般選挙立候補予定者説明会

おいらせ町議会議員一般選挙に立候補を予定している人を対象に、立候補届け出に関する手続きなどの説明会を開催します。

●日時 3月17日(土) 14時～

●場所 中央公民館講堂(2階)

町選挙管理委員会 ☎ 0178 56 2166

Oirase new-book's information

図書館おすすめの本を紹介します。



一般書 武士の家計簿 磯田道史 著

「金沢藩士猪山家文書」という武家古文書に、精巧な「家計簿」が例を見ない完全な姿で残されていた。生き生きと復元された武士の暮らしを通じて、まったく違った「日本の近代」が見えてくる [町立図書館]



一般書 3652 伊坂幸太郎 著

デビュー10周年に贈る初めてのエッセイ集。10年間(=3652日)につむがれた多数の「小説以外」を惜しむことなく一挙収録。全エッセイに著者自信による脚注コメント、裏話が満載 [町立図書館]



一般書 十津川警部鹿島臨海鉄道殺人ルート 西村京太郎 著

上野公園で若き剣士が3人の男女を切り殺した。その謎を解こうと十津川警部は剣士の過去を調べていく。すると、そこには不可解な剣士の母の死、父の失踪が浮かび上がってきた [町立図書館]



一般書 モルフェウスの領域 海堂尊 著

未来医学探求センターで働く日比野涼子は、少年・佐々木アツシの生命維持を担当していた。5年間の「凍眠」から少年が目覚める際、重大な問題が立ちはだかっていることに彼女は気付いた [町立図書館]

ほかにも新着を取りそろえています

日本全国ご当地たれの本(くぼたさとし)、田舎の紳士服店のモデルの妻(宮下奈都)、英語の絵本活用マニュアル(外山節子)、一刀斎、最後の戯言(森毅)、母子寮前(小谷野敦)、定食と文学(今終二) ほか

Oirase-library event information

■本展示

一般●大人だって夢がある
児童●ひな祭り

■読み聞かせ会

3月26日(土) 14時から

■幼児のための読み聞かせ&布絵本で遊ぶ会

3月24日(土) 10時半から

■3月の休館日

7日(日)、10日(木)～14日(日)、22日(火)、28日(日)

■蔵書点検

3月10日(土)から14日(日)の5日間、蔵書点検のため休館します。本はブックポストに返却してください。視聴覚資料は点検終了後、返却してください。

町立図書館 ☎ 0178 56 3900



インフルエンザに注意しましょう。

Stop "Influenza"

環境保健課 ☎ 0178 56 4218

インフルエンザは、感染すると高熱や関節痛などの症状が出ます。なかには脳炎など、さらに重い症状になることもあります。正しい知識、適切な予防と対応で、インフルエンザの拡大を防ぎましょう。

特に高齢者、子ども、妊婦、基礎疾患のある人は重症化しやすいといわれています。注意しましょう。

●「感染しない・させない」ためのポイント

- 栄養、休養を十分に取、基礎体力を付ける。
- 帰宅したら手洗いとうがいをする。
- できるだけ人ごみを避けるようにする。
- マスクを付ける。
- せきなどの症状が出たら、周囲にうつさないようせきエチケットに心掛ける。
- 高熱、せきや関節痛などインフルエンザの症状が出たら、早めに受診する。
- 医師と相談し、インフルエンザの予防接種を受ける。今年度は「新型インフルエンザ」「季節性インフルエンザ」の混合ワクチンが接種可。

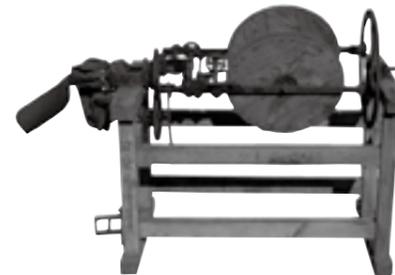
足踏み装置で連結する歯車を利用して、ハンドルを回しながら2個のラップ状の受け口から藁を入れる。上部に取り付けた送りかけ装置で燃つて、巻き取り装置に巻いていく。

この機械の出現によって作業能率は上がった。岩手県には大正5、6(1916、17)年頃に導入されたという。後に動力で回転させるものが出てき、昭和30(1955)年頃まで使われた。

文/町文化財保護審議会委員 櫻庭俊美

縄織機

[民具ふれあい館所蔵]



縄は普通、物を縛ったり結んだりするのに用いる。祭祀に用いるしめ縄は、昔から左巻きが多い。一般に使われる縄は右巻きが多く、藁を両方の手のひらにはさみ、右手が常に前に出るようにし、送りをかけながら手でもみ合わせて纏った。どの家でも、主に夜なべ仕事として行われたものである。

縄織機は明治の末に佐賀県で考案されたとされ、製縄機とも呼ばれた。原理は手で燃る作業と同じである。下部の

足踏み装置で連結する歯車を利用して、ハンドルを回しながら2個のラップ状の受け口から藁を入れる。上部に取り付けた送りかけ装置で燃つて、巻き取り装置に巻いていく。

この機械の出現によって作業能率は上がった。岩手県には大正5、6(1916、17)年頃に導入されたという。後に動力で回転させるものが出てき、昭和30(1955)年頃まで使われた。

文/町文化財保護審議会委員 櫻庭俊美

日米合同鮭の稚魚放流会参加者を募集します

三沢米軍基地の家族と一緒にサケの稚魚を放流します。

- 日時 3月12日(土) 9時半から
- 場所 しもだサーモンパーク
- 内容 ごみ拾い、サケの稚魚放流など
- 対象 小学生未満の子ども
- 持ち物 防寒具、長靴、手袋、バケツなど
- 申し込み 3月4日(金)までに参加する保護者名、児童名を連絡してください。
- 問い合わせ 商工観光課 ☎ 0178 56 4703



体育協会加盟団体

Oirase Sports Association

File 7

サッカー協会

(平野敏彦会長、会員90人)

サッカー協会は青森県社会人リーグ1部参戦をはじめ、上北郡総合体育大会、県民体育大会などで上位入賞を狙える強豪です。

練習日は週3日程度(夏場は日(土)・(日)、冬場は(土)・(日)です。いちょう公園で19時から練習します。

サッカーを楽しみながら、心と体はもちろん、町を元気にしましょう。

●問い合わせ サッカー協会事務局 赤坂千敏 ☎ 0178 56 4259 (町スポーツ振興課内)



相談・窓口

いじめや不登校などの悩み相談に応じます

☎ 0178 56 975



学校などでの悩みに、教育相談員が丁寧に対応します。相談は無料。秘密は守られるので安心です。

●受付開始日 4月1日(金)

●対象 町内の児童、生徒、保護者など関係者

●日時 毎週(月)～(金) (祝日など除く) 9時～16時

●場所 東部上北研究協議会(みなくる館内)

●相談内容 いじめ、不登校、しつけ、進路など

●相談方法

- ① 来室相談
- ② 家庭訪問による相談 (氏名、日時、場所や電話番号などを連絡してください)
- ③ 電話相談

高額医療・高額介護合算制度を利用できます

☎ 0178 56 4218

国民健康保険と介護保険の限度額を適用後、両方を合わせ次の額を超えたときは、超えた分の金額が支給されます。対象費用や所得区分など、詳しい内容は気軽に問い合わせください。

●年額の期間 8月から翌年7月まで

●合計した場合の限度額

年齢	所得区分	合算時の限度額
70歳未満	一般	67万円
	上位所得	126万円
	住民税非課税世帯	34万円
70歳以上 75歳未満	一般	56万円
	現役並み所得者	67万円
	低所得者II	31万円
	低所得者I	19万円

●申請に必要なもの 保険証(国保・介護両方)、印鑑、通帳

●申請場所 環境保健課または町民課

町民相談窓口を開設

まずは悩みを相談して

☎ 0178 56 4701

一人でも悩まず、気軽に相談してください。

●日時 3月9日(水) 10時～15時



相談員 ● 小向恵子

●場所 東公民館

●日時 3月20日(日)、27日(日)、4月3日(日) いずれも開庁時間は9時から13時まで

●場所 本庁舎

●業務内容

- ① 町民課 各種証明発行、住民異動届け、戸籍届け、出や異動に伴う児童福祉関係の手続き
- ② 環境保健課 異動に伴う国民健康保険取得、喪失の手続き

保険・医療

高齢者国保加入者の負担割合を据え置き

☎ 0178 56 4218

70～74歳までの国保加入者で一部負担金の割合が1割の人は、今年4月から負担割合が2割に引き上げられる予定でした。しかし24年3月31日までは1割負担に据え置きされることになりました。白色の高齢受給者証を確認してください。

一部負担金の割合が3割の「現役並み所得者」は変更ありません。なお、現在1割負担の人でも、前年所得をもとに現役並み所得者と判定された場合、今年8月から3割負担になります。

●変更の内容

□変更前/2割(ただし23年3月31日までは1割)

□変更後/2割(ただし24年3月31日までは1割)

●高齢者受給証の差替交付 対象者には3月下旬に郵送します。申請などは特に必要ありません。

●新規の人 親元を離れ町外に転出する学生には学生用保険証が申請により交付されます。

●更新の人 現在交付されている学生用保険証は23年3月31日で期限が切れます。該当者は更新申請が必要です。

●卒業する人 学生用保険証返還の届けが必要で

●必要なもの 印鑑、国保保険証、在学証明書(学生証は不可)

●申請場所 環境保健課または町民課

場所	日時	行事内容
三田保育園 ☎ 0178 56-2008	1(火) 10:00～11:00	手作りおもちゃで遊ぼう(北部児童センター)
	2(水) 10:00～11:00	手作りおもちゃで遊ぼう(南部児童センター)
	8(火) 10:00～12:00	体験保育(2歳クラス)
	10(木) 10:00～12:00	ハンドメイドクラブ(スクラップブック)
	15(火) 10:00～12:00	体験保育(1歳クラス)
	16(水) 10:00～12:00	体験保育(0歳クラス)
	17(木) 10:00～11:30	親子クラブ(おやつ作り)
	24(木) 10:00～11:30	よちよちひろば(成長記録作り)
	4(金)、11(金)、18(金) 10:00～12:00	たんぼぼクラブ
	*詳しい内容は「たんぼぼ通信」をご覧ください	
錦ヶ丘保育園 ☎ 0178 56-4051	3(水) 10:00～11:30	体験保育(ひなまつり)
	8(火) 10:00～11:30	作って遊ぼう(錦ヶ丘集会所)
	15(火) 10:30～11:30	ひまわりの会(北部児童センター)
	18(金) 10:00～11:30	ハートクラブ(木ノ下児童館)
	24(木) 10:00～11:30	ピヨピヨルーム(お別れクッキング)
菜の花保育園 ☎ 0176 53-8670	4(金)、11(金) 10:30～11:00	歌・手遊び、読み聞かせ(木ノ下児童館)
	5(土)、12(土) 15:00～18:00	キッズバレエ&リフレッシュ体操スクール(有料)
	8(火)、22(火) 10:30～11:00	歌・手遊び、読み聞かせ(北部児童センター)
	12(土)、26(土) 10:00～11:30	保育体験
	12(土) 14:00～15:30	わくわくサークル(手作りお菓子)
あゆみ保育園 ☎ 0178 52-2206	1(火) 10:00～12:00	はんど&はあと(おつかれさま会)
	3(水) 10:00～12:00	おいらせクロバ(おつかれさま会)
	8(火) 10:00～12:00	すだちの会
*詳しい内容は「きらら通信」をご覧ください		

国民健康保険 INFORMATION

1 資格異動のときは必ず届け出を

14日以内に環境保健課または町民課へ届け出しましょう。

- 国保に加入するとき
- ① 職場の健康保険を抜けたとき
 - ② 職場の健康保険に加入しておらず、転入や出生があったとき
 - ③ 生活保護を受けなくなったとき

- 国保を抜けるとき
- ① 職場の健康保険に加入したとき
 - ② 職場の健康保険に加入しておらず、転出や死亡したとき
 - ③ 生活保護を受け始めたとき
 - ④ 後期高齢者医療制度に移行したとき

届け出が遅れると、保険証を病院などに提示できず医療費が全額自己負担になったり、保険税が二重払いになったりする場合があります。また、保険証が切り替わったときは、病院などにも連絡してください。

2 交通事故のときは必ず届け出を

交通事故などで第三者から傷病を受けた場合も、国保を使って受診できますが、必ず環境保健課へ届け出してください。加害者から治療費を受け取ったり、示談を済ませたりすると国保を使えなくなります。注意してください。詳しい内容は気軽に問い合わせください。

☎ 0178 56 4218

ごみは夜出さず、収集日の朝8時までに出してください。ペットボトルのキャップやラベルははずしてください

町内会	有楽町/阿光坊/本村/新敷 錦ヶ丘/洗平	住吉町/若葉/青葉/緑ヶ丘 鶯久保/木ノ下/豊栄/豊原 向山/苔米地/洋光台/根岸 黒坂/深沢/一川目/二川目	鍋久保/三本木/三田/間木/曙/ 木内々/染屋/木崎/秋堂/中野平/ 苗振谷地/向坂/本町地区/くるみ団 地/藤ヶ森/いちよう団地/堀切川/ 川口/明神下/横道/日ヶ久保
燃えるごみ	毎週月・木曜日		毎週火・金曜日
燃えないごみ	3月25日(金)	3月22日(火)	3月28日(月)
資源ごみ	缶・プラスチック 3月2日(水) プラスチック 3月16日(水)	紙 3月9日(水) びん 3月23日(水)	
粗大ごみ	3月11日(金)・25日(金) ★有料予約制/1週間前までに申込みが必要です		

祝日も収集します ☎ 環境保健課 TEL 0178-56-4218

国民年金♥ガール

2回目から学特申請が簡単になるわ

監修/Shinya.N 絵/Ryo.O

3月下旬に
翌年度分の
学特申請書が
はがきで来るわね

確か必要事項を
書いてポストに
入れるだけ。
とても簡単なのよね。

はい、
そのとおり♥
よくて存知ね♥

まずは今年2月中
旬までに、
学特承認が決定
した人に届くわ♥

1回目の申請で…
知っているわ。
1回目の申請書で
書いた
「在学予定期間中」は
はがきが届くのよね。

ありがとう…
年金ガール
年金のことで
困ったら
いつでも呼んで♥

忘れずに申請してね♥

教えておいらくん

学生納付特例 (=学特) 申請の簡素化

学特申請は毎年度必要。2回目以降は、在学予定期間中に届く「学特申請書」のはがきで申請できるよ。
はがきが届いていない場合は、確認してね。

●学特申請書のはがきが届く目安

学特承認の決定時期 はがきが届く時期

4～2月中旬	3月下旬頃
上記以降の時期	5～6月頃



☎日本年金機構八戸年金事務所 ☎0178 44 1742
町民課 ☎0178 66 2246

まちづくり応援します
「ハートピア助成金」

☎0178 56 4701

ハートピア助成金は宝くじ収益金を活用しています。現在、23年度実施事業を募集しています。募集は4月、10月の2回ですが、内容相談などには随時対応します。

●対象 次の①～④を満たす



す団体が対象です。
①住所や活動場所が町内に
ある団体
②助成対象になる活動を確実に実行できる団体
③営利、政治または宗教を目的としない団体
④団体の運営に対し町の補助を受けていない団体

●対象活動・助成期間

□まちづくり事業 文化、スポーツ、美化や自然保護活動など(3年間)

□地域コミュニティづくり事業 町内会員加入促進を目指す事業(5年間)

●助成額 活動経費の3分の2、上限は20万円まで

●対象外の経費 人件費、自団体内に対する謝礼報酬、備品費など

●上限がある経費 食糧費、景品代など。詳しい内容は問い合わせください。

●申込方法 申込書類に必要事項を記入し、4月8日(金)までに企画課へ提出してください。申込用紙は企画課にあります。

●決定方法 ハートピア審査会で審査後、結果を通知します。

●これまでの採択事業 記念植樹、自給菜園、町内会区域周知看板、地図作成、勉強会など

3月の納税相談日 ☎税務課 ☎0178-56-4704

税金に関する相談はもちろん、税金を納めることもできます。気軽に問い合わせください。



	月日	会場
夜間納税相談 [17:00-20:00]	1日(火)	本庁舎(税務課)
	15日(火)	
	8日(火)	分庁舎(分庁サービス課)
*休日納税相談 [8:30-17:00]	22日(火)	
	6日(日)	本庁舎(税務課)

2月10日から申告受付実施中。忘れず申告しましょう。

納め忘れをしないためにも、手間のかからない口座振替が便利です

募集します
町民農園
オーナーを募集します

☎0178 56 4279

●場所 向山3の74
●面積 一区画15坪
●区画数 29区画
●利用期間 4月下旬から10月末まで
●設備 貸し農具、農具小屋、トイレ、駐車場など
●年間利用料 一区画あたり3,000円
●募集期間 4月1日(金)から



ら15日(金)まで
●応募方法 申込書に必要な事項を記入し、印鑑と料金と一緒に申し込んでください。先着順で受け付けます。申込書は農林水産課、町ホームページで入手できます。

運動のプロと一緒に
ウォーキングを学ぼう

☎0178 56 4218

「春のウォーキングスタート講座」を開きます。事前に申し込みが必要です。雨天の場合は室内で行います。内履きをお忘れなく。

●日時 3月24日(土) 13時半～15時

●集合場所 みなくる館
●講師 加藤智子さん(健康運動指導士)
●持ち物 タオル、飲み物

3月1日から一週間は
「女性の健康週間」

☎0178 56 4218

心の病「うつ」は男性に比べ、女性のほうがかかりやすいといわれています。女性ホルモンの分泌量が変わる時期がきっかけになることもあるようです。

次のような症状が▼2つ以上当てはまる▼2週間以上続く▼日常生活に支障が出る▼など場合、うつの可能性を考えてみてください。

心療内科や精神科など、専門の医療機関で診断することもお勧めします。

うつセルフチェック

□毎日の生活に充実感がない
□これまで楽しめたことが楽しめなくなった
□前は楽にできたことが、おつこうに感じる
□自分が役に立つ人間だと思えない
□訳もなく疲れたように感じる

●女性のこころの健康講座
日時/3月3日(土) 13時半～15時半
場所/東公民館
講師/大山博史さん(県立保健大学教授・精神科医)

青森県広報コンクール 広報おいらせ特選受賞

青森県広報協議会は2月2日、青森県広報コンクール審査会を開きました。審査の結果、2年連続で広報おいらせ(2010年12月号)は広報紙の部(総合)特選を受賞しました。レイアウトや内容だけでなく、おいらせの風土、歴史や文化、町民の活動そのものが評価されたと考えます。これからも「おいらせらしく」「町民に読んでもらえる」広報誌作りを目指します。

▶広報紙の部・特選——2010年12月号



特集「おいらせ定食」は百石高校食物調理科をフィルターに▶安全安心な食▶地産地消▶高校生の就職活動——などを考えました。

▶組写真の部・佳作——2010年3月号



特集「一念発起」に掲載。極寒の洋上で繰り広げられるホッキガイ漁を時系列でレイアウトし、漁師の苦勞、真剣さを表現しました。

▶1枚写真の部・佳作——2010年11月号



特集「秋を震わす郷土への愛」の扉写真。父と子のほほえましい姿をとらえました。祭りへ寄せる思い、親子の絆を表現した1枚です。

日本一安い葬儀社 有限会社 北浜葬儀センター

- 霊柩車・病院からの遺体運搬・運賃含め、総費用30万円
- 車代を含まなければ20万円から

お客様のご予算に合わせて葬儀料を決定。気軽にご相談ください。

おいらせ町二川目四丁目 73-1468 ☎0178-53-2614

- 澤頭あすみ (幸生・ゆかり) 阿光坊 14人
- 下久保晴翔 (昌宏・瑠惟) 住吉町
- 竹ヶ原光来 (忍・真由美) 七軒町
- 鈴木リオナ (哲・鮎美) 向山
- 鈴木瑛翔 (大輔・智子) 一川目
- 田中智稀 (義浩・晴美) 木ノ下
- 小向陸斗 (英樹・美紀) 根岸
- 中下眺良 (真二・久美子) 洋光台
- 下久保奎司 (雄二・枝美子) 緑ヶ丘
- 安藤壮介 (勇介・純子) 三本木
- 田嶋羽稀 (裕行・りっか) 大工町
- 工藤陽向 (光生・志穂) 上新町
- 太田喜仁 (良仁・慶子) 木崎
- 三文字伽野 (昭彦・弥生) 七軒町

◆ こんにちは赤ちゃん

戸籍の窓

1月に届け出し、掲載を希望した人を載せています

- 袴田マツヨ 82歳 向山
- 磯沼シヅエ 93歳 苦米地
- 本地明男 68歳 上新町
- 川口雅俊 29歳 若葉
- 沖田ツマ 94歳 日ヶ久保
- 山崎信子 84歳 洗平
- 川口チル 77歳 下新町
- 小向貞丞 87歳 上新町
- 馬場岩樹 87歳 秋堂
- 北向ヤヨエ 77歳 横道
- 市村マツエ 91歳 苦米地
- 川口スミ 84歳 藤ヶ森
- 齋藤昭次 81歳 鷲久保
- 木村セツ 67歳 一木川
- 久慈松造 80歳 目々

◆ お悔やみ申し上げます

- 中村和順 若葉 3組
- 西山真衣 木ノ下
- 鈴木哲 向山
- 杉本鮎美 八戸市
- 阿部貴英 住吉町
- 古山泉 住吉町

◆ 結婚おめでとう

まちの人口 (2月1日現在)

人口	前月比
男 12,200	↓ 9
女 12,942	↓ 10
計 25,142	↓ 19
世帯 9,361	↓ 10



◆ 青森県信用組合百石支店「いちよの会」(白石恵美子会長) から、図書カード1万円分を寄贈していただきました。

◆ 青い森信用金庫おいらせ支店信友会から、教育図書用として15万円を寄付していただきました。

- 佐々木清松 63歳 鶉久保
- 中里かをる 85歳 曙
- 川口喜一 86歳 藤ヶ森
- 山本あき 82歳 二川目

◆ ありがとうございます

編集後記

▼百石えんぶりを取材するため、3日間同行させてもらいました。春が近いといっても、2月はまだ寒さの厳しい時期です。カメラを持つ手が次第にかじかみ、思うように操作しにくくなりました。それでも子どもたちは、寒さを吹き飛ばすほど元気に舞っていました▼門付けで回った家の人たちは、えんぶりを優しい目で見守っていました。伝統芸能は地域の人々の心で支えられ、育てられるものなんだなと実感しました。私は郷土芸能や祭りとは関わりが少な地域で育ちました。ですからこのような姿を見て、本当にうらやましく感じます▼広報おいらせは青森県広報コンクールで2年連続特選をいただきました。いつも取材や情報提供に笑顔で応じてくれる皆さんに、心から感謝しています。ありがとうございました

企画課 広報担当
松林 拓大

お知らせ健康カレンダー

日・曜	行事名	時間	場所	備考
1 火	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、看護師の血圧測定
2 水				
3 木	女性のこころの健康講座	13:30-15:30	東公民館	詳しい内容は20ページをご覧ください
4 金	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、相談
5 土				
6 日				
7 月				
8 火	リハビリ健康相談 1歳6カ月児健康診査	9:30-11:00 受け付け/12:30-12:45	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、看護師の血圧測定 対象*平成21年8月生まれの子ども
9 水	2~3カ月児健康相談 乳幼児健康相談	受け付け/10:00-10:30 受け付け/13:00-13:30	いきいき館	対象*平成22年12月生まれの子ども 月齢は問いません
10 木	健康栄養講座 冬場の運動不足解消教室	10:00-13:30 13:30-15:00	いきいき館 みなくる館	調理実習と講話「彩り良く食べよう」 講師*健康運動指導士 加藤智子さん
11 金	リハビリ健康相談 健診結果相談会	9:30-11:00 受け付け/15:00-15:30	いきいき館 老人福祉センター	理学療法士のリハビリ指導、相談 健診結果を持参してください
12 土	愛の献血	10:00-16:00	イオンモール下田	
13 日				
14 月				
15 火	リハビリ健康相談 2歳6カ月児健康診査	9:30-11:00 受け付け/12:30-12:45	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、看護師の血圧測定 対象*平成20年8~9月生まれの子ども
16 水				
17 木				
18 金	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、相談
19 土				
20 日				
21 月				
22 火	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、看護師の血圧測定
23 水	9~10カ月児健康相談	受け付け/10:00-10:30	いきいき館	対象*平成22年5~6月生まれの子ども
24 木	春のウォーキングスタート講座	13:30-15:00	いちょう公園	詳しい内容は20ページをご覧ください
25 金	リハビリ健康相談 3歳児健康診査	9:30-11:00 受け付け/12:30-12:45	いきいき館 老人福祉センター	理学療法士のリハビリ指導、相談 対象*平成19年9月生まれの子ども
26 土				
27 日				
28 月				
29 火	リハビリ健康相談 健診結果相談会	9:30-11:00 受け付け/15:00-15:30	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、看護師の血圧測定 健診結果を持参してください
30 水				
31 木				

卒業・入学
記念撮影承ります

★卒業用袴の貸衣装あります★

入学式当日はご予約なしでも
撮影できます

Tel:0178-52-2525 / Fax: 0178-52-2603
Web: Yahoo! や Google で「アトリエゆう」を検索

労働大臣検定一級写真技能士の店
有限会社アトリエゆう

※有料広告掲載欄です



最初は疲れて大変だった大黒舞
もつと練習を重ね美しく舞いたい

田中雪乃さん

(二川目)

Profile

たなか・ゆきの★2000（平成12）年百石町（当時）二川目生まれ。4歳の頃、百石えんぶりに加入した。竹の子舞、松の舞を覚え、現在は大黒舞の舞い手を務めている。えんぶりのほか、スポーツ少年団サッカー部に所属し、活躍している。甲洋小学校の4年生。祖父母、父母、兄と6人暮らし。おいらせ町二川目在住、10歳

2月15日から3日間行われた百石えんぶりで、大黒舞の舞い手を務めた田中雪乃さん（10）
「寒かったけど、舞っているうちに温かくなってきました。少し恥ずかしかったけど、上手に舞うことができて良かったです」とにっこり。

えんぶりを始めたのは4歳の頃から。友人から「一緒にえんぶりに入ろう」と誘われたのがきっかけだった。

最初に驚いたのは「たくさん決めごと」だった。話を聞くときは必ず正座をする。最初は足がしびれて、我慢するのに必死だったという。

大黒舞を務めるようになり今年で2年目。「去年に比べて足腰の力がついたかも。しつかり踊れるようになりました」と自信を見せている。

先輩たちを見習い、もつと練習を重ね、美しく舞えるようになりたいと話す田中さん。少しずつ自信を積み重ね、新たな目標を目指し前に進む。



2月10日から
確定申告を受け付けています。
来年の税金を決めるための
大切な手続きです。
忘れず申告してください。

「奥入瀬川の恵みと笑顔あふれるまち」の情報誌

広報 おいらせ

No.73 2011年3月1日発行号